



南紀熊野観光塾 第4期 「地域マネジメント」とはどのようなことか? 「日本版」DMOを考える!

南紀熊野観光塾【基礎コース】カリキュラム

基礎コース	平成28年 11/10 木 13:00 ~ 17:00	平成28年 11/11 金 9:30 ~ 16:30	11/10(木) 夕食・宿泊は希望者のみ	基礎実践コース (任意参加)	平成28年 11/24 木 13:00 ~ 17:30	平成28年 11/25 金 9:30 ~ 16:00	11/24(木) 夕食・宿泊は希望者のみ
	会場：リバージュ・スパひきがわ				会場：南紀月野瀬温泉 ぼたん荘		

初回 11月10日 (木)

開塾式 13:00 ~ 13:10 (10分)
会場：リバージュ・スパひきがわ 1階会議室(現地集合)

★基調講演は一般開放 先着40名 (この基調講演は参加無料です)
基調講演 山田桂一郎氏 13:10 ~ 14:40 (90分)
『地域経営に観光が果たす役割とは?』
地域の価値を創造し、向上させ続けるためには経営的な発想が求められます。なかでも、観光は地域におけるさまざまな行為主体をつなぐ極めて重要な手段になります。では、どのようにつなげばいいのでしょうか? 地域経営に観光が果たす本質的な役割に迫ります。

塾長講義 山田桂一郎氏 14:50 ~ 15:50 (60分)
『なぜ DMO が注目を集めているのか?』

グループ討論 16:00 ~ 17:00 (60分)
『マーケティングとブランディング』 講師：山田、出口、竹林、此松
翌日グループ討論に向け論点整理

自習 ※希望者は映像学習(自習) 17:30 ~ 18:30 (60分)

夕食交流会 18:30 ~ 19:30 (60分)
★任意参加夕食交流会
リバージュ・スパ ひきがわ
南紀熊野の大自然に育まれた食材を活かし、こだわりをもって旬の味覚をご提供させていただきます。

夜なべ談義 19:30 ~ 21:30 (予定)
★任意参加夜なべ談義
リバージュ・スパ ひきがわ

宿泊 ※希望者は宿泊 リバージュスパ・ひきがわ

2回目 11月11日 (金)

塾長講義 山田桂一郎氏 9:30 ~ 10:40 (70分)
『エゴと利害関係を越えた連携は可能か?』
エゴと利害関係は人間社会に常に付きまとう障害です。どんなにすぐれた計画も、これが原因ですべてが崩壊してしまいます。では、どうすればエゴと利害関係を越えた連携が可能になるのでしょうか? 一緒に考えましょう!

グループ討論 10:50 ~ 12:00 (70分)
『DMO で目指す 30 年後の地域経営の姿』 講師：山田、出口、竹林、此松

発表・講評 13:00 ~ 14:10 (70分)
『発表、講師講評』 講師：山田、出口、竹林、此松

塾長講義 山田桂一郎氏 14:20 ~ 15:30 (70分)
『地域経営が目指すべき姿とは?』
ここまでのプログラムで学んだことを振り返りつつ、あらためて地域経営が目指すべき姿とはどのようなものかについて考えていきます。

まとめ(60分) 15:30 ~ 16:30 (60分)
2日間を振り返るとともに、今後の活動についてプレゼンをして頂きます。 講師：山田、出口、竹林、此松

基礎実践 (任意参加) 11月24日 (木)

塾長講義 山田桂一郎氏 13:00 ~ 14:20 (80分)
『地域経営を支える商品づくりとは?』
その地域でしか手に入らない価値ある商品をつくることで、お客様がわざわざ足を運ぶようになる必然性が生まれます。また、わざわざ足を運んでくれることで、地域へのさまざまな波及効果が期待できます。そのメカニズムと、地域ならではの商品づくりの重要性を明らかにしていきます。

活動報告 14:30 ~ 15:30 (60分)
『塾生による各種活動報告』 講師：山田、出口、竹林、此松

グループ討論 15:40 ~ 16:40 (60分)
『各種活動報告について意見交換』 講師：山田、出口、竹林、此松

発表、講師による講評、まとめ 16:40 ~ 17:30 (50分)
『グループ発表、講師による講評、まとめ』 講師：山田、出口、竹林、此松

★任意参加夕食交流会 18:30 ~ 19:15 (45分)
圧倒的こだわり! 新メニュー登場『海山川御膳』
串本黒鮪・紀州梅真鯛・地魚・鹿のきんぴら・猪クリームコロッケ・鹿のフリカデル・ごりの佃煮・手長海老田舎煮・鮎の南蛮漬・海山川サラダ・季節の野菜の炊き合わせ・御飯・味噌汁・漬物※仕入れにより内容が変わる場合があります。

★任意参加古座川体験 19:30 ~ 21:00 (90分)
『古座川ハナアミ体験』 ☆有料・先着15名
～ハナアミ乙女と作る世界でひとつだけの花飾り～
古座川生まれの花飾り「ハナアミ」…野山の花やお庭の花を少しずつ使って、自由に編む田舎で生まれた文化です。古座川のおばあちゃんたち、通称「ハナアミ乙女」がひとつひとつ丁寧に編んでいます。

★任意参加夜なべ談義 19:30 ~ 22:00 (予定)
体験に参加されない方は「いろり館」で夜なべ談義をどうぞ
※希望者は宿泊 南紀月野瀬温泉 ぼたん荘

基礎実践 (任意参加) 11月25日 (金)

グループ討論 9:30 ~ 10:40 (70分)
『いい商品とは何か?』 講師：山田、出口、竹林、此松
あらためて、いい商品の「いい」の意味を本質からとらえなおし、いい商品づくりのために求められる姿勢とは何かについて考えていきます。

グループ討論 10:50 ~ 12:00 (70分)
『いい商品を作り続けるためには何が必要か?』 講師：山田、出口、竹林、此松

発表、講師による講評、まとめ 13:00 ~ 14:10 (70分)
『グループ発表、講師による講評、まとめ』 講師：山田、出口、竹林、此松

塾長講義 山田桂一郎氏 14:20 ~ 15:20 (60分)
『選ばれ続ける商品づくりとは?』
ここまでのプログラムで学んだ内容を振り返りつつ、あらためて選ばれ続ける商品づくりの本質についてとことん考えていきます。

閉塾式(基礎コース) 15:30 ~ 16:00 (30分)
閉塾式・基礎コース修了証書授与・記念撮影

「南紀熊野観光塾」塾長からひととく塾の目的>
南紀熊野観光塾とは「選ばれ続ける地域」をモットーに、南紀熊野のあるべき姿をみんなで考え、魅力的で持続可能な地域づくりの仕組を担う中核的な人材を育成することを目的とした塾です。人々が地域の魅力に気づき、誇りをもって幸福に暮らすことができれば、おのずとその地域の魅力に引かれて人々が訪れるようになります。では、どのような地域を目指せば住民も訪れる人々も幸福になれるでしょうか。この塾では、それを根本から考え抜くとともに、さまざまな分野から参加された塾生の方々との間でじっくりと議論していきたいと考えています。あらためて地域づくりや観光について学び直すだけでなく、生涯に渡って一緒に活動が続けられる同志を見つける場として大いに活用してください。

南紀熊野観光塾 塾長：山田 桂一郎 (やまだ けいいちろう)



「南紀熊野観光塾」塾長紹介

塾長：山田 桂一郎 JTIC SWISS 代表、エコツーリズム協会理事、観光カリスマ 和歌山大学 教育研究アドバイザー

塾長プロフィール

2005年 観光カリスマ(内閣府・国土交通省(観光庁)・農林水産省 認定)「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ」として、これまでのヨーロッパを中心とした環境保全(環境保全活動プログラム、環境教育、環境アセスメント等、海外在住者として初めて日本の環境省に登録された環境カウンセラー)と世界各地における滞在プログラム・ツアーの実施と観光・集客交流の事業化、マーケティングの経験を活かし、観光・地域振興(まちおこし)・自立型地域経営、サービス向上、人材育成や中心市街地・商店街活性化等)に関する講演やセミナーの講師として全国各地から招聘されている。また、日本国内でも地域振興・再生のコンサルタントとして様々な事業化(特に地域経営マネージメントの組織化)を進め、多方面で積極的に事業活動を展開し、多くの実質的な成果と結果を残す。民間企業やNPO法人以外にも多くの省庁や地方自治体の委員、プロデューサー、コーディネーター、アドバイザー、アドバイザーを務め、大学や高等教育機関でも教鞭をとっている。近年は観光庁「訪日観光セミナー」講師、ミシュラン・グリーンガイドの取材コーディネイトも行う。2011年には週刊日経ビジネス誌において「次代を創る100人」の一人として選出された。

欧州では、ヨーロッパ・アルプス並びにスイス全土に渡る取材・撮影のコーディネーター、ライター(日本旅行作家協会 会員)、ビデオカメラマン、通訳としても活動。冬は、現地で唯一の日本人スキー教師、夏は、ハイキング、トレッキングガイドでもある。スポーツに関しては、山以外でもセーリング(ヨット)競技の元国体選手であり、パラグライダーでも空も飛び、陸海空の全てをフィールドとしている。

1965年 三重県津市生まれ
1987年 スイス・ツェルマット観光局 日本人対応インフォメーション、セールスプロモーション担当
1992年 JTIC SWISS(スイス 日本語インフォメーションセンター)設立
1996年 環境省環境カウンセラー(事業者部門)として登録、ヴァレー州観光局日本・アジア向けプロモーション担当
1999年 Mt.6(ベスト オブ ザ クラシック マウンテンリゾート) 環境政策とCS(顧客満足度推進)顧問就任
2003年 環境省環境カウンセラー(市民部門)として登録
2004年 特定非営利活動法人 日本エコツーリズム協会 理事、まちづくり観光研究所 主席研究員
2005年 内閣府、国土交通省、農林水産省認定 観光カリスマ
2010年 総務省「地域活性化アドバイザー」
2011年 和歌山大学客員教授 北海道大学客員准教授
2015年 内閣府官庁「地域活性化伝道師」、和歌山大学 教育研究アドバイザー

「南紀熊野観光塾」講師紹介

講師：出口 竜也 和歌山大学 観光学部 観光経営学科 教授

【出口竜也(でぐち たつや)】和歌山大学 観光学部観光経営学科 教授
1964年石川県金沢市生まれ。1987年富山大学経済学部卒業、1991年神戸商科大学(現兵庫県立大学)大学院経営学研究科博士後期課程在中退し、徳島大学総合科学部専任講師に就任。同学部助教授を経て、2007年和歌山大学経済学部観光経営学科教授に就任。2008年より現職。専門は経営組織論、経営戦略論、観光経営論。近年は、人類的アプローチによる経営学研究や産業集積研究に高い関心を持っている。また、国際産業集積研究センター(SIARC)理事、いき交流文化デザイン研究所理事、日本うどん学会評議員など、幅広い分野で要職を務め、学際的な活動を続けている。

(著書)『日本の経営の本流—松下幸之助の発想と戦略—(共著、PHP研究所1997年)』・『ケースブック現場主義の海外経営(共著、白桃書房1997年)』・『社員の経営人類学(共著、東方出版1999年)』・『経営学への旗立ち(共著、八千代出版2001年)』・『企業博物館の経営人類学(共著、東方出版2003年)』・『ケースブック・ビジネスモデルシンキング(共著、文芸堂2007年)』・『経営戦略の基礎(共著、東京経済情報出版2007年)』・『会社文化のグローバル化(共著、東方出版2007年)』・『新グローバル経営論(共著、白桃書房2007年)』・『経営理念—継承と伝播の経営人類学的研究—(共著、PHP研究所2008年)』など。

講師：竹林 浩志 和歌山大学 観光学部 観光経営学科 准教授

【竹林浩志(たけはやし ひろし)】和歌山大学 観光学部観光経営学科 准教授
1970年大阪府生まれ。1995年関西大学大学院経済学研究科博士課程後期課程を単位取得後退学し、大阪明海大学(現 大阪経済大学)観光学部専任講師に就任。同学部助教授を経て、2007年和歌山大学経済学部観光経営学科准教授に就任。2008年より現職。専門は観光組織論、経営戦略論、観光経営論。近年は、観光地運営における戦略主体の移転や組織的変革などを中心とした経営学的研究に高い関心を持っている。また、観光庁「観光地づくり人材育成ガイドライン検討会」委員も務めている。

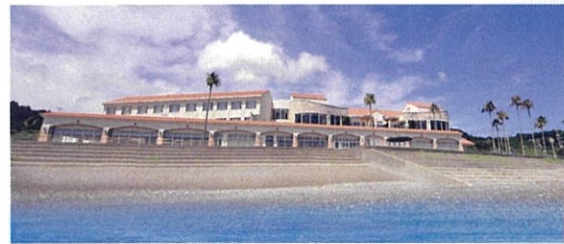
(著書)『現代のチーム制—理論と役割—(共編著、同文館、2003年)、トライブ『観光経営戦略—戦略策定から実行まで—(共訳書、センゲージラーニング、2007年)、『ホーソーン実験の第一人者—科学的経営の源流を探る—(共著、同文館、2008年)、『観光入門—観光の仕事・学習・研究をつなぐ—(共著、新編社、2011年)』など。

講師：此松 昌彦 和歌山大学 教育学部 理科教育教授 災害科学教育研究センター長

【此松昌彦(このまつまさひこ)】和歌山大学教育学部 教授
1963年東京都生まれ。1987年東海大学海洋学部卒業、1996年大阪府立大学大学院理学研究科後期博士課程を単位取得後退学し、和歌山大学教育学部研究センターに就任。1999年和歌山大学教育学部助教授に就任。2008年より現職。2010年より和歌山大学防災研究センター長を兼任。専門は地質学・古環境学・防災教育、和歌山県では新時代の地質、特に第四紀の古環境について研究している。学校や地域での防災教育プログラムを開発している。最近では南紀熊野ジオパーク推進協議会の学術専門委員として、南紀熊野ジオパークをサポートしている。ジオパークから地域住民が、住んでいるところの自然史を学び、災害に対して備えるためのプログラムを研究している。

会場アクセス

リヴァージュ・スパひきがわ
和歌山県西牟婁郡白浜町日置 1016-25
■JR利用：特急利用の場合 JR周参見駅下車、タクシーで約15分
：各駅停車の場合 JR周紀伊日置駅下車、タクシーで約10分
■自動車利用：阪和自動車道を経て紀勢自動車道・日置川ICより約5分。
(日置川IC出て100m走ると右に看板有り)
■専用駐車場有



南紀月野瀬温泉 ぼたん荘
和歌山県東牟婁郡古座川町月野瀬 881-1
■JR利用：JR紀勢本線 古座駅下車、タクシーで約10分
■自動車利用：阪和自動車道 田辺ICより、国道42号線方面
■交通案内文：JR古座駅よりタクシーで約10分。阪和道田辺ICより国道42号線約120分。



和歌山大学南紀熊野サテライト所在地



〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9
和歌山県立情報交流センター Big・U 内
■JR利用：JR紀勢本線 BigU 最寄駅、JR白浜駅。
大阪方面から新大阪より約2時間30分
■自動車利用：阪和自動車道
田辺ICより、国道42号線方面
■専用駐車場有

応募要項 ※募集人数と費用について

塾生募集は15名様迄

(応募者が多数の場合は抽選となります。ご了承ください。)
①募集対象：全ての回に参加が可能な方、18才以上の方
②会場までの交通費、宿泊費、体験費、食費等の費用は自己負担です。
③会場費用、テキスト代費用など参加費用として実費15,000円を初回徴収いたします。基礎コース修了後、塾生コースに参加希望される場合はお早目に事務局までお問い合わせください。

※記載の内容は変更することもあります。予めご了承ください。

平成28年度 南紀熊野観光塾【基礎コース】 参加申込用紙 ※注意・塾生コース申込用紙は別用紙です

基礎コース専用申込用紙【11/4(金)17:00 締切】 ※必要事項をご記入の上、FAXまたは記載内容をメールにてお申込みください。

フリガナ お名前：	年齢：	性別： 男 ・ 女
住所：		
電話番号：	所属：	
電子メール：		

※この申込みの情報は開催の目的以外では使用しません。

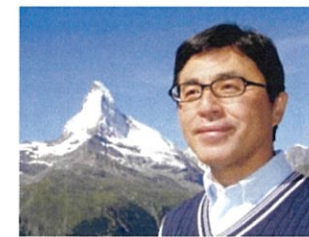
お問い合わせ先

和歌山大学南紀熊野サテライト
〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9
和歌山県立情報交流センター Big・U 内 102 号室
TEL:0739-23-3977 FAX:0739-23-3978
メール：nankuma@center.wakayama-u.ac.jp
http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/
■開室時間：10:00～17:00(日・月・祝祭日等休み)



NANKI-KUMANO-KANKOJUKU
南紀熊野観光塾

平成28年秋開塾



～いま、求められる観光中核人材を考える。次世代の地域経営～

南紀熊野観光塾長：山田 桂一郎

「地域マネジメント」とは
どういうことか？
～「日本版」DMOを考える！～

第4期生募集【基礎コース】15名

南紀熊野観光塾【基礎コース】日程

基礎コース	平成28年 11/10 木 13:00～17:00	平成28年 11/11 金 9:30～16:30	11/10(木) 夕食・宿泊は 希望者のみ	基礎実践 コース (任意参加)	平成28年 11/24 木 13:00～17:30	平成28年 11/25 金 9:30～16:00	11/24(木) 夕食・宿泊は 希望者のみ
-------	---------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	-----------------------	---------------------------------	--------------------------------	-----------------------------

会場：リヴァージュ・スパひきがわ

会場：南紀月野瀬温泉 ぼたん荘

開催日	・基礎コース 平成28年11月10日(木)・11日(金) ・基礎実践コース(任意参加) 平成28年11月24日(木)・25日(金)
申込締切日	平成28年11月4日(金)17:00
参加条件	全ての回に参加する意欲の有る方 18歳以上の方(学歴等不問)

「南紀熊野観光塾」とは、「選ばれ続ける地域」をモットーに、南紀熊野のあるべき姿をみんなで考える塾です。魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成することを目的とした塾です。人々が地域の魅力に気づき、誇りを持って幸福に暮らすことができれば、おのずとそこには観光客がやって来ます。では、どのような地域になれば人々は幸福になれるのでしょうか。この塾では、それを根本から考え抜くとともに、さまざまな分野から参加された塾生の方々との間でじっくりと議論していきたくて考えています。あらためて地域づくりや観光について学び直すだけでなく、同志を見つける場として大いに活用してください！

※次の方々にお勧めの塾です。

観光業従事者	観光振興の担い手	地方公共団体	ジオパーク担当者
若手起業家	観光案内者	まちづくり担当者	旅館経営者
地域住民の方	地域振興団体	観光に関心のある大学生・高校生	
商工関係者	インストラクター	地域づくり担当者	ガイド、語り部

主催：和歌山大学南紀熊野サテライト 共催：和歌山大学観光学部 後援：和歌山県